

§ BVS-2 ビーバースカウト隊のプログラム

10時40分～11時20分（40分）

目標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. ビーバースカウト部門の進歩制度とプログラムの関係を理解する。
2. ビーバースカウト部門のプログラムプロセスについて理解する。
3. 柔軟性のあるプログラムが必要なことも理解する。

指導上のねらい

1. ビーバースカウト部門の活動の目標グループと進歩制度のねらいと仕組みについて正しく理解し、プログラムに反映させて運用することが、スカウトをカブスカウト隊への上進に導くことに繋がることを理解させる。
2. プログラムプロセスが様々なニーズに基づいたものであることを理解させる。
3. ビーバースカウト隊の諸会議のそれぞれの役割について知らせる。
4. ビーバースカウト年代の興味の持続時間は短く柔軟性のあるプログラム展開が重要であることを気づかせる。

準備品（資材・資料）

- ・ビーバースカウト隊リーダーハンドブック（2017改定版）
- ・コピー用紙（A4参加者分）
- ・ビーバースカウト歌集
- ・日本連盟教育規定集

セッションの展開

時間	セッション内容	指導上の留意点・ 準備品・支援
10:40	1. 導入（5分） この時間は、 1. ビーバースカウト隊のプログラム（作成・内容・運用） 2. ビーバースカウトの進歩制度の2点について、	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーバースカウト隊リーダーハンドブック ・ ビーバースカウト歌集 ・ 日本連盟規定集 ・ おきての手引き ・ コピー用紙
10:45	2. 展開（分） <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰が作成している。 ・ どんなことを考えて作成している。 	個人作業
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムとは。 ・ ビーバーの活動目標 ・ よいプログラムは ・ プログラムプロセス ・ プログラム立案手順 ・ 	ビーバースカウト隊リーダーハンドブック
11:10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーバースカウトの進歩 	
11:15	3. まとめ	
11:20	4. 振り返り	